



穏やかな雰囲気の伊地知さんご夫妻

Cafe-imoan
(イモアン)

(イモアン)

ゆったりとした空間で、
やすらぎのひとときを

小さな白い看板に「limon」の文字。エレベーターを2階で降りると、コーヒীর香りが漂う、ゆたかりとした空間が広がる。

同店は2014年に開店。和のテイストを取り入れたメニューも多く、赤ちゃんからお年寄りまで、幅広い年齢の人たち

八千代市

変わるメニューには、地元産の季節の野菜や果物をふんだんに取り入れている。今の時期のお勧めは、千葉県産のサツマイモ、あやこまちを使った「オレンジ芋のチーズケーキ（420円）」。

コーヒースタンドは味と香りにこだわり、モカは八千代市のきたみcoffee、ブラジルは同市のごくり、ブレンドは印西市のマツムシコーヒーから仕入れている。店内の匂いにも気を配り、床のワックスがけは、米ぬか素材のもので行う。

店で使っているテーブルティークの木工道具は祖父のものです。

「ここでも過剰なリフレッッシュ出来た、と言っているだけだときが、お店をやっている良かつたな、と思う瞬間です」。

先月22日からは、八千代市の芸術家たちとカフェのコラボ企画「ART×Cafe 2022」が開催され、写真作家のこじかあいさんの作品展示とコラボメニューも登場する。

▽東葉高速鉄道「八千代中央」駅から徒歩15分。11時〜18時。水、木曜定休。（その他不定休あり。）

に愛されている。プリン、あんこ、甘酒は開店当初一緒に始めた亡き母のレシピ。どれもシンプルな作りだが、だからこそおいしい」と、カフェを経営する伊地知さん夫妻。

は、もとは餅を伸す板だつたそう。「アンティークシヨップから来たときは、お餅が貼り付いていていたのを洗い、磨いて足をつけて設置した」。店内にはアンティークの小物

甘酒の麴は地元八千代市の老舗店のもの。「地元で手に入るものは出来るだけ地元で」。季節ごとに変わるメニューには、地元の季節の野菜や果物をふんだんに取り入れている。今の時期のお勧めは、千葉県産のサツマイモ、あやこまちを使ったオレンジ芋のチーズケーキ。

が並び、ギャラリーではこだわりの雑貨も展示販売している。「奥に置かれた茶箱は祖母のアンティークの大工道具は祖父のものだそう。

「ここで過ごしてリフレッシュ出来た、と言っているだけですが、お店をやっている良かったな、と思う瞬間です」。

安くても美味しいと評判の「ワイルドな焼芋屋」。オーナーは農地保全産業代表の小久保力さん（68）。子どもの頃から焼き芋が大好きだった小久保さんは、美味しい焼き芋を作っ

て皆に食べてもらいたい」という願いを叶えるべく、昨年10月、印西市大森に焼き芋屋を開店した。

自然が一杯の畑の中に、ビニールハウスを自作し、ドラム缶に薪をくべて焼

メニュー等も含めHPで確認を。P.1台。

▼八千代市大和田新田3

53・101ナツミビル
 2F。☎047・429・8681。

て滑らかな食感の「シルクスイート」と、ねっとり蜜がたっぷり入った「べにはる」の2種類がある。値段は100円あたり150円。安さの秘密は燃料代がかからないから。捨てられる端材などを利用している。

▼印西市の店長は近くに住んでいる高添仁美さん(38)。「お客として来店した他に成田店(月曜のみ営業)、安食店(土曜のみ営業)、富里店(木曜のみ定休)販売所がある。10月から5月末まで営業している。

▽☎090・4608・8456。

▼印西市大森79-2。(習志野カントリークラブ西側近く)。

き芋を作る。いたってシンプルだ。それがワイルドという店名の由来。とにかく焼き芋作りが楽しいという小久保さんの焼き芋は焼き加減も抜群。甘味料、保存料、着色料を一切使用しないので安心安全だ。

千葉県産のほくほくし

やけどに注意！アツアツの焼き芋

折、焼き芋に対する情熱を小久保さんに語り店長としてスカウトされたそう。明るい接客にファンも多い。印西店のみ夏（6月～9月）は冷やし芋を販売して通年営業している。隣接する畑には「野菜直売セルフ」の店もあり、お得に野菜が購入できる。これからの季節は大根やカブなどの根菜類が収穫できる。

有。

印西店の営業日は土曜のみ、14時～17時。無料P

予約はInstagramが可能。（印西店のみ）@wild_imo

10月11日(火)リニューアル新発売

キリン 生茶 免疫ケア

525mlペットボトル

健康な人の免疫機能の維持に役立つ
「プラズマ乳酸菌」を1,000億個配合。
摘みたて生茶葉のようなあまみ、ワリ
が生きたまろやかな緑茶のおいしさ
です。

24本入り
3名様

▽商品に関する問い合わせ

キリンビバレッジ株式会社 お客様相談室
(フリーダイヤル) **0120・595955**
<https://www.kirin.co.jp/softdrink/>



希望商品名・〒住所・氏名・電話番号を明記して「東葛每
fureai@bunya.ne.jpへメール応募も可。◆応募締め切
●当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます

～和の真髄～
津軽三味線 脩一朗&大地
 稀代の津軽三味線奏者、久保木脩一朗が率いる邦楽
 エンターテインメント！
 和の真髄をお楽しみください。

期 日:11月27日(日) 15時30分開演(15時開場)
 会 場:亀戸文化センター カメラホール
 チケット:全席指定一般3500円
 ティアラ友の会3200円(当日各500円増)

アオイスタジオ(株)主催
 ≧問 ☎ 03-5626-2121(亀戸文化センター)

**3組
6名様**

大 地



間社」ホームページ<https://bunya.ne.jp>「今月のプレゼント」から応募
 11月10日必着。
 す。

ふれあいプレゼント



まるで作品のような工房土間のうねり

印西市に工房を構える陶芸家で、陶壁作品などで評価の高い作家、井上猛雄さん(72)の陶芸展が成田市のギャラリーで6日から開かれる。今回は花生け、茶碗、皿など生活の器とオブジェなど約30点を展開する。作品は大地と一体となって木と草と一緒にいるような気持ちになる。土のぬくもりを味わえる作風」と、杜のギャラリー海「小林順子オーナー。

工房は印西市の印旛沼近くの自然豊かな森の中。井上さんが陶芸に興味を持つようになったきっかけや作品への想いなどを聞

「井上猛雄 陶芸展」
杜のギャラリー海
6日～23日
(成田市)

成田市

ういう作業が面白かった」。その後、益子陶芸家神谷紀雄氏に師事、陶芸の基礎を習う。

「土間を見てください、人が通った跡の土のうねりがいいでしょう。また、



くために工房を訪ねた。
「若いころ、アルバイトで貝塚や住居跡の発掘や調査を手伝っていた。資料作成のため、土器の破片

を組み合わせ
て復元し
た絵を描
くのだと

を取り入れ、土俗的で古
代を思わせる独特のフォ
ルムが魅力的だ。器がど
う使われているかを知る
ために、自らお茶を点て
ることもあるという。

野山の自然の一部と化
した工房で、井上さんが
風の音や陽の光を感じな
がら産み出した作品を、

たものを使い、石を入れて荒くしているという。

千葉県の4つの文化会館による「舞台芸術企画」募集に応募して、昨年度採択されたのが、「NPO 芸術分の教育」の企画。

手話合唱でオリジナル曲「やさしい風になるから」を12日、青葉の森公園芸術文化ホールで発表する。

手話合唱は千葉明德学園の学生、生徒、年長児ら。▽出演・明石現（口弦ギタ）、プロデュース、千葉明德短大教授、STELLA（ボーカル）、小澤章代（ピアノ）、井澤哲也（手話創作）。

芸術分の教育プロジェクト合唱団（千葉明德学園）。

丸山幸（舞台表現指導）。▽11月12日（土）15時30分開演。全席自由。一般／1000円。中高大学生／500円。小学生以下障がい者手帳をお持ちの方は無料。

▽チケット問 ☎043・266・3511（同ホール）。








出演：
 新石 真 (11歳ギター、プロデュース)
 STELLA (ヴォーカル)
 小澤 麗奈 (ピアノ)
 岸崎 悠也 (手鼓製作)
 芸術分の教育プロジェクト合組団 (千葉県徳津町)
 丸山 幸 (舞台表演指導)

2022年11月12日 (土)
 15:00開場 15:30開演
 会場：青葉の森公園芸術文化ホール
 千葉市中央区青葉979-1

入場料：全席自由 一般1000円 中高大学生500円
 小学生以下・障がい者手帳をお持ちの方は無料
 タケットお申し込み：043-266-3511 (青葉の森公園芸術文化ホール)
 お問い合わせ：akashigen@gmail.com

主催：芸術分の教育プロジェクト (NPO芸術分の教育)
 公益財団法人千葉県文化財団 (青葉の森公園芸術文化ホール)
 青葉の森公園芸術文化ホール
 〒260-0801 千葉市中央区青葉979-1

2泊3日



専門講師が同行する学びのカルチャーツアー「風来人」

京都の復興とその後の発展に寄与した 「琵琶湖疏水」を巡るウォーキング

同行講師／横山満氏(地理愛好家・研究家)

コースNo. 【F458T-53】

琵琶湖の水を京都に引くことは、古くから京都の人々の願いでしたが、それを可能にする測量技術やトンネル掘削の土木技術がありませんでした。明治維新後、東京遷都によって疲弊した京都の復興のため、琵琶湖疎水が計画され1885(明治18)年に着工、1890年に第1期工事を終え、総工費は約125万円(現在換算約625億円)といわれています。1912(明治45)年には第2疎水も完成しました。琵琶湖疎水は舟運、水力発電による産業・交通の発展のみならず、水車動力・庭園用水・防火用水などに利用され、現在も京都市民の生活に不可欠な施設です。今回は疎水沿いの社寺や、秋の風情を楽しむウォーキングです。

出発日 11月29日(火)	出発時間 (2泊3日)
旅行代金(おひとり・税込)	2名1室 85,800円



琵琶湖疎水(イメージ)

◆コース／①東京8時30分～9時30分発(「新幹線」一京都一「JR東海道本線」一大津…「徒歩」…琵琶湖疎水第1・2取水口…大津開門・制水門…トネル開門…園城寺(三井寺)…大津市内泊(宿：東横INN京都琵琶湖大津・洋室、または同等クラス)②…小関越え・峠の地蔵…第1・2堅坑…第1トネル西口洞門…疏水公園…第10号橋…三条通…第3トネル西口・第2疎水合流出口…御陵(市営地下鉄)一蹴上…インクライン…南禅寺舟渡り…琵琶湖疎水記念館…夷川舟渡り…鴨川運河接点(地下鉄)一京都市内泊(宿：三井ガーデンホテル京都三条・洋室、または同等クラス)③一(地下鉄)一蹴上…南禅寺…南禅寺水路閣…疏水分線…若王子神社…「哲学の道」…銀閣寺橋…慈照寺(銀閣寺)＝(路線バス)＝京都一「新幹線」一東京18～20時着 ◆食事：①昼・夕②朝・昼③朝・昼 ◆歩程：①約6Km②約12Km③約5Km ◆添乗員同行 ◆最少催行人員：15名

☎03-6265-6966

◆申し込み／毎日新聞旅行「ふれあい」係

(10時～16時、土日祝休み) 後援・東葛毎日新聞社